

様式 2

平成 30 年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

学校名 菊川市立加茂小学校

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

1 実践テーマ	【I・V】
2 実施対象者	全校児童 425名 学校職員 35名 保護者 希望者（11名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ア：特別活動）行事名（ ② その他（ (2) 地域における活動 ① イベント名（イ：みんなの金メダルプロジェクト） ② その他（
4 目標 (ねらい)	ア 県内屈指の陸上競技クラブである『スズキアスリートクラブ』から2名の選手を招き、講話を聞いたり、質問に答えたりしてもらうことで夢を持ち、努力することの大切さ等の生き方を学ぶ。また、選手のパフォーマンスを実際に目にすることで、プロスポーツ選手のすごさを感じたり、オリンピックに対する興味関心を高めたりする。 イ 市で協賛している『みんなのメダルプロジェクト』に加茂小として参加することで、オリンピックの歴史や考え方について興味・関心を持つ。また、自分たちの集めたもので金メダルがつくられることで、より東京オリンピックを身近に感じ、東京オリンピックに対する興味・関心を高める。
5 取組内容	ア (事前) 昇降口掲示板にて県内でどれくらいの方がオリンピック選手としてしているか、どんな種目に参加しているか、招待する選手の種目について等の紹介をする。また、講師として来て頂く選手の紹介VTRをつくり、子どもたちの興味関心を高める。 (当日) 運動場で講師の方のパフォーマンスを見せて頂いたり、児童と競技で対戦したりする。その後、体育館にて事前にとったアンケートをもとに講話の方の話を聞く。



3時間目は全校で新井選手と山崎選手のパフォーマンスを見せて頂いたり、40m走やボーテックス、ハードル走で対戦したりし、楽しい時間を過ごしました。



4時間目は4, 5, 6年生で行い、事前にとったアンケートから選手に聞いてみたいことを色々聞きました。小学生の頃のことや今現在のこと、そして、東京オリンピックに向けての思いなど沢山のお話を聞くことができました。

(事後) パラリンピック教材『I'm POSSIBLE』を使い、パラリンピックについての知識を高める。

イ (事前) 市の環境推進課と連絡をとり『みんなのメダルプロジェクト』についての資料を準備し、保護者や児童に趣旨や取り組む内容について説明をする。

(当日) 上記の期間学校昇降口前に回収箱を設置し、回収を行う。集まっ

たものは市の回収場所に運び、取組に参加するかたちをとる。



(事後) 加茂小で集めた小型家電でどれくらいの金が取れ、金メダルいくつ分に相当するかなどを児童・保護者に伝える。

6 主な成果

- ・子どもたちのオリンピックに対する興味関心が高まり、応援したい、頑張っ
て欲しいという思いを持つことができた。
- ・実際に生のパフォーマンスを見せて頂いたことで、選手のすごさや競技の凄
さを感じ取り、代表選手や競技に対して興味関心を高めることができた。
- ・選手にいろいろな話を聞いたことで、自分自身の目標や夢を持つことができ
た。
- ・オリンピックに向けて継続的に取組を行っていることで、東京オリンピック
が身近なものとなり、オリンピック開催への期待感を高めることができた。

・テレビに出るような凄い人が学校に来てくれるなんて夢を見ているみたいでした。(1年生)

・わたしがビックリしたのは、有紀選手と走る競争をしたんだけど、有紀選手はわたしがスタートし
たところより凄く後ろからスタートしたのに、私よりも凄く早かったことです。七種目もできるので凄
いと思いました。(2年生)

・今日、新井選手と有紀選手が来てくれました。新井選手のやり投げは空まで飛んで行ってしま
うんじゃないかなと思いました。有紀選手の高跳びは後ろ向きでジャンプしていて凄かったです。(2
年生)

・私は女の人が七種目の競技を全部やっていて凄いなと思いました。もう一人の新井選手はやり
投げの選手でした。新井選手はおもしろい人でした。大学生までは家でごろごろしてテレビを見て
いたと聞いて、いいなと思いました。私は水泳をやっていて月曜日から木曜日までプールで、土曜
日もプールで全然休む暇がなくて大変です。でも、私はオリンピック選手になるのが目標なので頑張
りたいです。オリンピック選手になって無料のマックが食べたいです。(4年生)

・新井選手のはやりの跳び方が凄かったです。練習用のやりも投げて80m以上飛ぶのが凄いで
す。有紀選手は七種目もやるのが凄いです。その中でも砲丸投げと高跳びが凄いです。砲
丸投げを見てあーいう投げ方もあるんだと思いました。高跳びは自分の身長よりも高く跳べるのが
凄いなと思いました。私は運動は苦手だけど、目標を決めて頑張りたいなと思いました。(4年生)

・二人の選手の種目を生で見えて凄いなと思いました。いろんな学年の子と勝負した時、みんなを
簡単に抜いてしまっていて凄かったです。やっぱり凄い努力をしてオリンピックなどの大会に出ている
んだらうなと思いました。山崎選手のツイッターに『きついけどまだまだ頑張らないと』と書いてあり
ました。私にも夢があるから、努力を積み重ねて夢に向かって頑張りたいなと思いました。(5年
生)

・二人の選手に競技を見せてもらって凄いなと思いました。山崎選手は115cmの高さを勢いもつけ
ずにそのまま跳べて、新井選手はやりを凄く遠くまで飛ばして、最高記録が86mぐらいと聞いて
凄いなと思いました。私はボール投げでも20m行かないぐらいなのに、投げにくそうなやりであんな
に投げるなんて凄いなと思いました。二人の大切にしている言葉を聞いて、山崎選手は『感謝』でし
た。私も日頃お世話になっている人への感謝を忘れないようにしたいです。新井選手は『全力』で
した。目標はあまりないと言っていたけど、それが目標なのかなと思いました。二人にはオリンピッ
クに出て金メダルを取ってもらいたいです。(5年生)

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

- ・単発の取り組みで終わるのではなく、オリンピックマスコットの投票、オ
リ・パラに向けたポスターの取組、みんなの金メダルプロジェクト等と関
連を持たせ取り組んだ。



- ・事前に講師の方のVTRを見せ、選手に対して質問したいことのアンケートをとることで興味関心を高めた。
- ・選手のパフォーマンスを実際見たり、対戦したりする1部を全校、選手に質問をし話を聞く2部を4年生以上としたことで、発達段階に応じた取組となった。
- ・講師として来て頂いたスズキアスリートクラブと密に連絡を取り、準備物や選手の要望を聞くことで、当日の流れがスムーズになった。

8主な課題等

- ・折角の機会なので選手を派遣してもらおう計画したが、現役選手は忙しいためなかなかお願いすることが難しいと感じた。(本校は関係者を通じてスムーズにお願いすることができたが)

9来年度以降の実施予定

- ・オリンピックに関する他の事業等があれば積極的に参加し、子どもたちに東京オリンピックに対する気持ちを高めたり、興味関心を持続させたりしていきたい。また、オリンピック教材を使いパラリンピックの理解や関心を高めることも行いたい。